

### 1. 授業のねらい・概要

本講義では、初中級の応用的な学習から始め、文法や語彙の確認をしながら、運用力や文章読解力を身につける。留学生の苦手とする助詞はもちろん、動詞や語法などを反復練習しながら学習し、身近なトピックを用いて短文作成や文章読解を学ぶ。

この授業では、日本語に自信がない、あるいはもう一度基礎から学びたい留学生が日本語を楽しく学ぶことを目標とする。

### 2. 授業の進め方

テキストを中心に授業を進める。説明部分を講義とし、受講者各自が学習成果を身につけられるよう、練習問題や反復練習などを行う。

そのためにも、テキストとノートは毎時間持参すること。

テキスト以外の資料も使用して学習するため、プリントを配布することもある。

### 3. 授業計画

1. 自己紹介、日本語の基礎	9. 40、41 課（丁寧語、～したかどうか心配です）
2. 26、27 課（～したい、～できる）	10. 42、43 課（何に使いますか、雨が降りそうです）
3. 28、29 課（話せます、できました）	11. 44、45 課（～してください。使いやすいです）
4. 30、31 課（聞きながら、している、早いし安い）	12. 46、47 課（～したばかりです、～そうです）
5. 32、33 課（窓があいている、忘れてしまった）	13. 48、49 課（～させます、尊敬語）
6. 34、35 課（～のとおり、なれば、よければ）	14. 50 課（謙譲語）、まとめ問題
7. 36、37 課（～ようになる、15 世紀にたてられた）	15. 前期のまとめと試験
8. 38、39 課（～するのが好きです、遅れてしまう）	

### 4. 到達目標

1. テキストにある単文のことばを変えて作文し、口頭で発表してひらがなで書くことができる。
2. テキストをもとに、同じような短文を作成し、それを口頭で発表して漢字仮名混じり文で書くことができる。
3. 自分の考えを短文にまとめて口頭で発表し、それを漢字仮名混じり交じり文で書くことができる。

### 5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

事前学習としてはテキストをよく読み、名詞や動詞など、ことばの意味調べをする。

事後学習としては、授業で学習した文を繰り返し練習する。

### 6. 成績評価の方法・基準

期末試験 80%、日常の受講態度 20%を目安とする。

### 7. テキスト・参考文献

テキスト『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2刷 本冊』スリーエーネットワーク、本体価格 2,500 円＋税

### 8. 受講上の留意事項

- (1) 各自で意味調べができるよう、辞書（電子辞書可）を持参すること。
- (2) 私語・携帯電話の使用は厳禁。
- (4) 授業回数数の 3 分の 1 以上欠席した場合は評価の対象外とする。また、30 分以上の遅刻は欠席とする。